

一般質問 (1)

一般質問の要旨

第3回定例会で26人の議員が行った一般質問の主な内容です。掲載内容については、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。
※詳細は会議録をご覧ください(市内各図書館、両庁舎情報公開コーナー、議会事務局をご覧ください)
※ホームページでは11月下旬からご覧になれます。

凡例
自由民主党西東京市議団 (自民)
西東京市議会公明党 (公明)
日本共産党西東京市議団 (共産)
西東京改革フォーラム (改革)
新生クラブ (新生)
無所属 (無所属)

空き家対策は待たなし、撤去を可能とする条例を制定せよ!

石田 しゅう (無所属)

空き家対策について

質問 市内に相当数の空き家が確認されている中で、国が空き家の撤去を後押しする法案を今秋の臨時国会に提出する方向になった。空き家対策の条例制定についての市の考え方は。
答弁 空き家は放置すると、屋根や外壁の剥落などの問題を引き起こすものの、空き家を含め民間の家屋は行政の管理権限が及ばない個人財産であるため、対応が難しい。国による空き家対策の法制化については、市が空き家に対して対応する際の根拠となり、今後どのように取り組むかを考え、方針を打ち出すよい機会になると考えている。

意見

荒れ果てた空き家は周辺住民にとって切実な問題である。地域の防災・防犯面から問題が大きい空き家対策は当市にとっても待たなしの課題と考えている。国の法案化の動きをぜひよい機会と捉えて、空き家の撤去を可能とする条例制定を検討すべき。

その他質問等

- ◇ほうや福祉作業所の運営事業者の変更について
◇局地的集中豪雨への備えについて
◇市内公立中学校での生徒自殺の件について
◇泉小学校閉校に伴う移動希望校調査結果について

田無駅南口駅前広場整備は? 市内バス停にベンチの設置を!

坂井 かずひこ (改革)

質問

西原自然公園などの市民参加の取り組みの現状はどうなっているのか。
市長 多様な草花の説明を受けられる自然観察会を開催している。

質問

田無庁舎、田無公民館、中央図書館など、公共施設への玄関口である田無駅南口駅前広場整備に向けた現在の状況と今後のスケジュールは。
市長 事業化に向けた事業予定区域の現況測量作業を行うための説明会を10月1日に実施する予定、その後関係権利者に説明を行い合意形成に努めていく。

質問

住民票、印鑑証明書のコンビニ交付を推進するべきだ。
市長 コンビニ交付が実現すれば、店舗が市内全域に偏りなく存在することや取り扱い時間の延長等も可能になるなど、市民サービスの向上に貢献する方策と認識している。多方面から検討を行いながら市民にとって便利で効果的な証明書交付サービスを構築していく。
質問 バス停のベンチ設置を進めよ。
市長 基本方針の一つとしてバス停の環境整備の中でベンチの必要性をうたっている。現在保谷駅北口等3カ所に市で設置している。民間事業者にもさまざまな機会を通じて要請を行う。

住みよいまちを目指して、今、行政ができることは?

森 信一 (改革)

質問 認可保育所と認可外保育施設との保育料格差の是正を求める。
市長 今後、新制度のもと、施設ごとの料金をどうするか、保育料見直しの中で検討したいと考えている。

質問

児童保育について、集中豪雨により市道

周知・啓発・情報公開・市民参加 市は市民協働のまちづくりを!

大友 かく子 (無所属)

質問 虐待への対応は。
答弁 関係機関や地域の方から、通告や相談が子ども家庭支援センターに寄せられることが望まれる。早期発見の呼びかけ、通告先などを周知しているが、広報活動を強化する。また、要

西東京市に暮らす子どもたちを地域で育て、地域で守る!

石塚 真知子 (改革)

社会的養護「フレンドホーム」について

質問 週末や夏休みを利用して地域の中で家庭生活を体験する「フレンドホーム制度」がある。この制度は地域から始める家庭養護への一歩と考えるが見解は。
答弁 家庭での生活体験は、今後の子どもの成長においてとても大切なことである。市として東京都と連携して養育家庭ほっとファミリー制度やフレンドホーム制度など、家庭養護の推進に向けた周知や広報活動に努める。

意見

インケアを離れていく子どもたちの自立を支えるために公と地域の連携は不可欠である。
保育所における防災
質問 市内にはさまざまな保育形態が存在するが、災害時の安全対策は。
答弁 各事業者においては、訓練や研修の受講により対応準備と職員の意識向上に努めている。基準には避難経路の確保や避難訓練の実施は定められているが、備蓄品等の整備等は定められていない。他の保育施設や近隣住民との良好な関係を築いていくことも必要と考える。

から住宅街の私道に雨水が流入する地域があるが、市道側で何か対策を考えられないか。
都市整備部長 集水ます並びに排水管等の定期的な清掃を行いながら、私道への流入を防ぐ方策等について、今後も検討していく。

質問

西東京市は市職員が消防団へ入団することが可能である。団員確保に向け

質問

現在、指定校以外に対して何らかの措置をすることは検討していない。

質問

泉小跡地活用に市民参加が必要では。見解は。
答弁 活用案が決まった段階で必要性を検討したい。

質問

いじめ防止条例制定に向けての準備状況は。
答弁 都条例を十分検討し、庁内検討委員会で検討する。

その他質問等

- ◇庁舎統合について
◇子ども・子育て支援新制度本格実施に向けて
◇東大農場のみどりの創造と保全について



子ども家庭支援センター「のどか」(住吉会館内 住吉町6丁目)

誰もが「住みやすい街」、西東京市へ!

大林 光昭 (公明)

集中豪雨対策
質問 市内各所で、浸水被害が出ている。総合的な水害対策を進めていくべき。
答弁 防災基盤の整備に努める。土のうステーション

質問

や雨水貯留タンク等の設置を調査検討していく。
子育て支援の充実、周知
質問 子育て支援メニューのさらなる充実と子育てスタート応援券発行で、子育て支援事業の認知度・利用率の向上を図るべき。
答弁 調査研究していく。
認知症の早期発見・治療
質問 認知症対策として、早期発見・早期治療体制の構築など対策を講じるべき。
答弁 平成26年10月から認知症コーディネーターを配



保谷南分庁舎土のう置場(中町1丁目)

た呼びかけができないか。
総務部長 引き続き消防団の役割、制度等の説明、現在の状況等、職員研修などを通じ周知していく。
質問 市内公立小中学校の家庭訪問の実態を問う。
教育長 現在家庭訪問を実施しているのは、小学校1校、中学校1校だけである。
意見 学校外の子どもの生活環境も認識すべき。

置、認知症の疑いがある方々の早期発見に努める。虐待防止の取り組み
質問 市内中学生の自殺という痛ましい事件が発生。大切な命が失われたことを重く受け止め、再発防止策を講じるべき。
答弁 教育委員会として、学校支援体制を充実させる。
小中一貫教育
質問 いじめ、不登校等への対応として、国では小中一貫教育が議論されている。将来を見据えて検討すべき。
答弁 小中連携により、中学進学時の不登校が減少する傾向にある。今後、小中一貫教育を検討していく。